

内閣総理大臣 安倍晋三 様
内閣副総理大臣 麻生太郎 様

2013年8月5日
新日本婦人の会
会長 笠井貴美代

ナチス肯定の重大発言をした麻生氏は辞任・罷免を 集団的自衛権行使容認の人事や閣僚の靖国参拝は中止を

安倍内閣のタカ派的な暴走に、国内でも世界でも警戒と批判がいちだんと強まっています。麻生太郎副総理が改憲に関してナチス政権の「あの手口、学んではどうかね」と発言した（7月29日）問題を、「発言撤回」ですませようとする安倍内閣に厳しい目がむけられています。ナチス肯定発言は、戦後、日本・ドイツ・イタリアのファシズムを否定して出発した国際政治の原点を蹂躪する暴言であり、麻生氏がかつて「婦人に参政権を与えたのが最大の失敗」と時代錯誤の発言をしていることとあわせ、もはや政治家失格といわなければなりません。6野党が一致して要求する臨時国会での集中審議、麻生氏の辞任・罷免を求めます。

また、安倍内閣が、8日にも内閣法制局長官を交代させ、集団的自衛権行使を違憲とする政府見解の見直しを行い、防衛大綱にも盛り込もうとしたり、閣僚が靖国神社参拝の意向を明らかにするなど、平和を願う世界と日本国民に挑戦する動きが矢継ぎ早です。

新日本婦人の会は、「憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します」と目的に掲げて51年間歩み続けてきた女性団体として、ナチスや侵略戦争の美化と歴史の逆戻りを絶対に許さず、麻生副大臣の辞任・罷免を求め、また、集団的自衛権行使容認への解釈改憲のための法制局長人事、閣僚の靖国参拝の中止をつよく要求します。